

令和6年度埼玉SAFE協議会
介護施設SAFE協議会

@12.10 埼玉労働局14階大会議室



社会福祉法人 杏樹会
特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館
施設長 酒本隆敬

<http://anjyukai.or.jp/sf>

社会福祉法人杏樹会とは



地域包括支援センター



デイサービスセンター



特別養護老人ホーム
ショートステイサービス



保育事業



居宅支援事業所



グループホーム

3の地域で7種の
事業所を展開中



特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館

社会福祉法人杏樹会 特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館

■開設 2015年4月1日

■所在地 埼玉県入間市仏子1111-1

■事業所種別



・ユニット型 指定介護老人福祉施設100床

・併設ユニット型 短期入所生活介護事業所20床

■令和元年度埼玉県介護ロボット効果

実証導入促進事業モデル事業

■令和3年度埼玉県スマート介護施設モデル事業

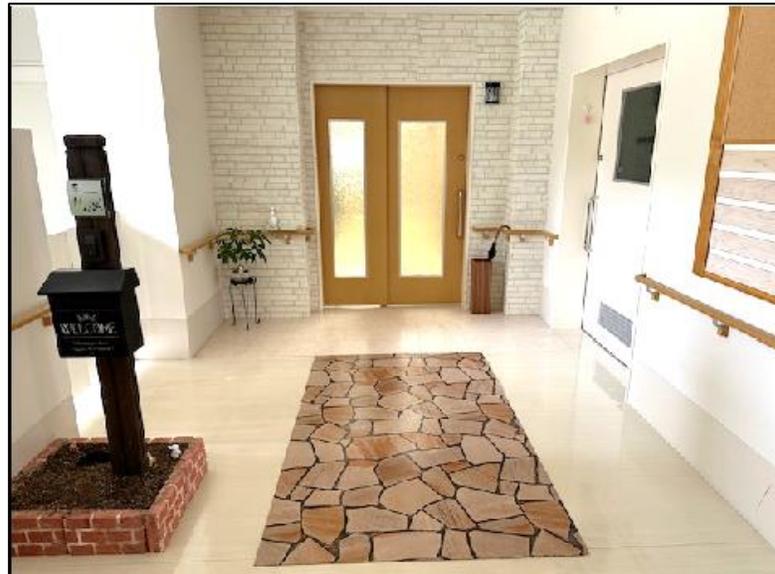
■令和5年度よりユニットリーダー研修実地研修施設

■入居者 平均年齢 88.3歳 平均介護度 3.9



特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館

住まいとしての杏樹苑爽風館 1



住まいとしての杏樹苑爽風館 2



現在の実施しているサークル



日中の過ごし方等



SAFEコンソーシアムとアワードとは

「SAFE」とは

従業員の幸せのための安全アクションを推進する活動体の名称。

「SAFEコンソーシアム」とは

増加傾向にある労働災害（特に、日常生活でも発生しうる転倒や腰痛などの災害）の問題を自分ごととしてとらえ、顧客や消費者も含めたステークホルダー全員で解決を図っていくため、趣旨に賛同した企業、団体に構成された、互いに力を合わせて目的を達しようとする組織の集団。労働災害問題の協議や、加盟者間の取組の共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟メンバーの認知度向上などサポート。加盟は無料となっている。

「アワード」の趣旨と目的

アワードは、職場において実施されている労働災害防止や安全・健康の増進のための取組事例を募集し、表彰することで、優良な取組を進める職場の「見える化」を図り、企業・労働者による更なる取組を促進することを目的としている。





～介護の標準化とテクノロジーを

活用した腰痛予防の取り組み～



事業者名：社会福祉法人杏樹会
 特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館
 業界・業種：医療・福祉
 従業員規模：約100人
 地域：関東/埼玉

背景（課題・ニーズ）

特別養護老人ホームではより重度の介護が必要な方への支援が求められています。その支援においてスタッフのスキルに依存するのではなく、機器やテクノロジー、アイテムの導入と使用の定着により介護の標準化を目指して開設より取り組みを行ってきました。

取り組んだプロジェクト内容

バッテリー完備で自走式、居室や浴室等、使用場所を限定しないバケットと、移乗用リフト6台を使用し全ユニット移乗介護を標準化しています。

リフトの導入定着の取り組みとしてメーカー講習員による定期的研修を設け、その研修動画を撮影し爽風館職員YouTubeへの限定公開でOJTとして活用しています。



体位交換時に少ない摩擦抵抗で比較的安易な力で実施できるスライディングシートを必要な方すべてのベッドの足元ボードポケットに配置し職員が標準的に使用しています。



HAL腰タイプ介護支援用2機とマッスルスーツソフトパワー3台をユニットに配備。入浴支援や中腰になる作業で使用しています。



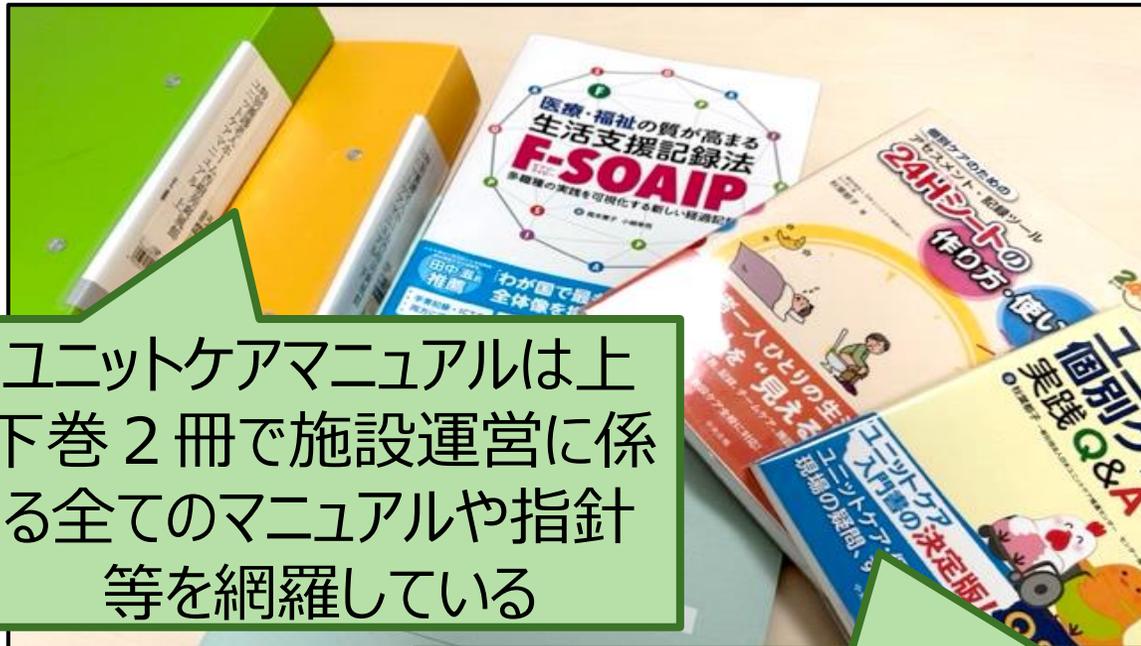
リフトを用いた移乗介助の標準化、スライディングシート使用による体位交換の標準化、装着型介護ロボット等を活用した標準化により開設から約8年間に取り組んだ成果として、介護の標準化により、施設における腰痛による労働災害の発生をゼロとしており今後も継続して取り組んでまいりたいと思います。



やってみての効果と今後の目標や展望



介護の標準化を目指した取り組み 杏樹苑爽風館ユニットケアマニュアル等一覧



ユニットケアマニュアルは上下巻2冊で施設運営に係る全てのマニュアルや指針等を網羅している

教科書としてユニットケアの教本2冊、記録の書き方の理解に1冊を貸与している



職務上位者とプリセプター・新人職員による定期面談
OJTプログラムに沿って実施

職務記述書と評価制度を用いたキャリアビジョン

職務記述書

【職種名】 介護サービス 【職務等級】 1 等級

【職務概要】 基礎的な実務知識、技能を有し、基本的な介護サービスを決められた手順で実施する

【主な職務内容（求められる職務行動）】

定額介護提供

就業環境とコンプライアンス

- 介護福祉法、介護法、介護ルールの内容の把握
 - 施設の企業理念、経営方針、行動基準、就業規定等を熟知する。
 - 介護サービス業に関わる者としての職業倫理（守秘義務、個人情報保護、情報開示、尊厳、人権擁護等）を熟知する。
 - 介護福祉法、およびその他の関連法規（老人福祉法、社会福祉事業法、障害者自立支援法、成年後見、権利保護、虐待防止等）について、法律の趣旨、内容、罰則等を理解し、法律の趣旨に基づいて、業務上発生した問題解決の指示や実施、想定される問題の未然防止等を推進する。
 - 介護業完全給付に関する法的または倫理的な事項について、過去に問題となった事例を把握し、その経緯や自施設に及ぼす影響を理解する。
- 介護福祉法、介護法、介護ルールの遵守
 - 日常業務に関連する法的または倫理的な問題についての具体的なケースについて、適切に問題解決を行う。
 - 不測の事態に遇しても、冷静な対応に努め、適切に問題解決を行う。
 - 介護福祉法、社会福祉法等に基づき、情報開示に関する判断を適正に行う。
- コンプライアンス・マネジメントの推進
 - 部門内において、コンプライアンス・マネジメントの推進と運営管理の統括を行う。
 - 日常業務の中でコンプライアンスを逸脱したケースがあった場合、迅速に施設責任者に報告するとともに、業務の正常化を図る。
 - 個人情報等の流出防止等を強化したり、サービスの実施記録のチェック等の管理を推進するなど、施設内におけるコンプライアンス違反の発生を未然に防ぎ、適切なリスクマネジメントを推進する。
 - 労働基準法の遵守徹底など、労務コンプライアンスを推進する。
 - ウェアレバレッジなどコンプライアンス・リスクの影響拡大に気を配り、率先して対策を講じる。（例：SNSを通じた利用者情報のネット上への流出リスクなど）

チームワークとコミュニケーション

- 上の者や同僚との連携による業務の遂行
 - 自分で判断して良いこととそうでないことを区別し、適切に上位者に報告・連絡・相談を行う。
 - 上司等の指示や指導に適切に対応する。
 - 対人関係において、相手と協力を図りながら行動する。
 - 利用者や家族のケア、同僚との協力・連携・相談を行う。
- チームの目標達成
 - チームの目標達成のために、他のスタッフと連携・協力しながら、業務を遂行する。
 - チームの目標達成に貢献し、コミュニケーションに関心、協力的な役割を担い、積極的に取り組む。

給与等級に紐づけされた職務内容を記述した書類、職種や職位等に分かれて用意された職務分掌

職務記述書 実 勤務評価表（介護サービス職）

【評価項目】 1. 業務遂行能力 2. 業務遂行態度 3. 業務遂行意欲 4. 業務遂行能力向上意欲 5. 業務遂行能力向上行動

【評価基準】 1. 100%達成 2. 90%達成 3. 80%達成 4. 70%達成 5. 60%達成 6. 50%達成 7. 40%達成 8. 30%達成 9. 20%達成 10. 10%達成 11. 0%達成

評価項目	評価基準	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1. 業務遂行能力	1. 業務遂行能力											
2. 業務遂行態度	2. 業務遂行態度											
3. 業務遂行意欲	3. 業務遂行意欲											
4. 業務遂行能力向上意欲	4. 業務遂行能力向上意欲											
5. 業務遂行能力向上行動	5. 業務遂行能力向上行動											

職務記述書に沿った年度末実施の評価表 1 単元 4 段階で自己、1次、2次、法人評価を実施

令和 年度 キャリアパスビジョンシート（介護サービス職）

1. 本年度個別職務のレベルアップ計画

本人記入欄	1次評価者記入欄																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>レベルアップが必須な業務内容とレベルアップの計画</th> <th>レベルアップの支援方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 介護福祉法</td> <td>Yes -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 介護サービス</td> <td>Yes -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 介護福祉</td> <td>Yes -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 介護サービス</td> <td>Yes -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 介護福祉</td> <td>Yes -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 介護サービス</td> <td>Yes -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	レベルアップが必須な業務内容とレベルアップの計画	レベルアップの支援方法	1. 介護福祉法	Yes -		2. 介護サービス	Yes -		3. 介護福祉	Yes -		4. 介護サービス	Yes -		5. 介護福祉	Yes -		6. 介護サービス	Yes -		
項目	レベルアップが必須な業務内容とレベルアップの計画	レベルアップの支援方法																				
1. 介護福祉法	Yes -																					
2. 介護サービス	Yes -																					
3. 介護福祉	Yes -																					
4. 介護サービス	Yes -																					
5. 介護福祉	Yes -																					
6. 介護サービス	Yes -																					

2. 前年度の自己リフレクションについて

1. 実現を促すための行き留まり、不安感、うまいかなかったこと 2. その時の感情はどうだったか

3. そこから何を学んだか（今後の行動にどのように活かすか） 4. 今後の抱負

本人記入欄

1次評価者記入欄

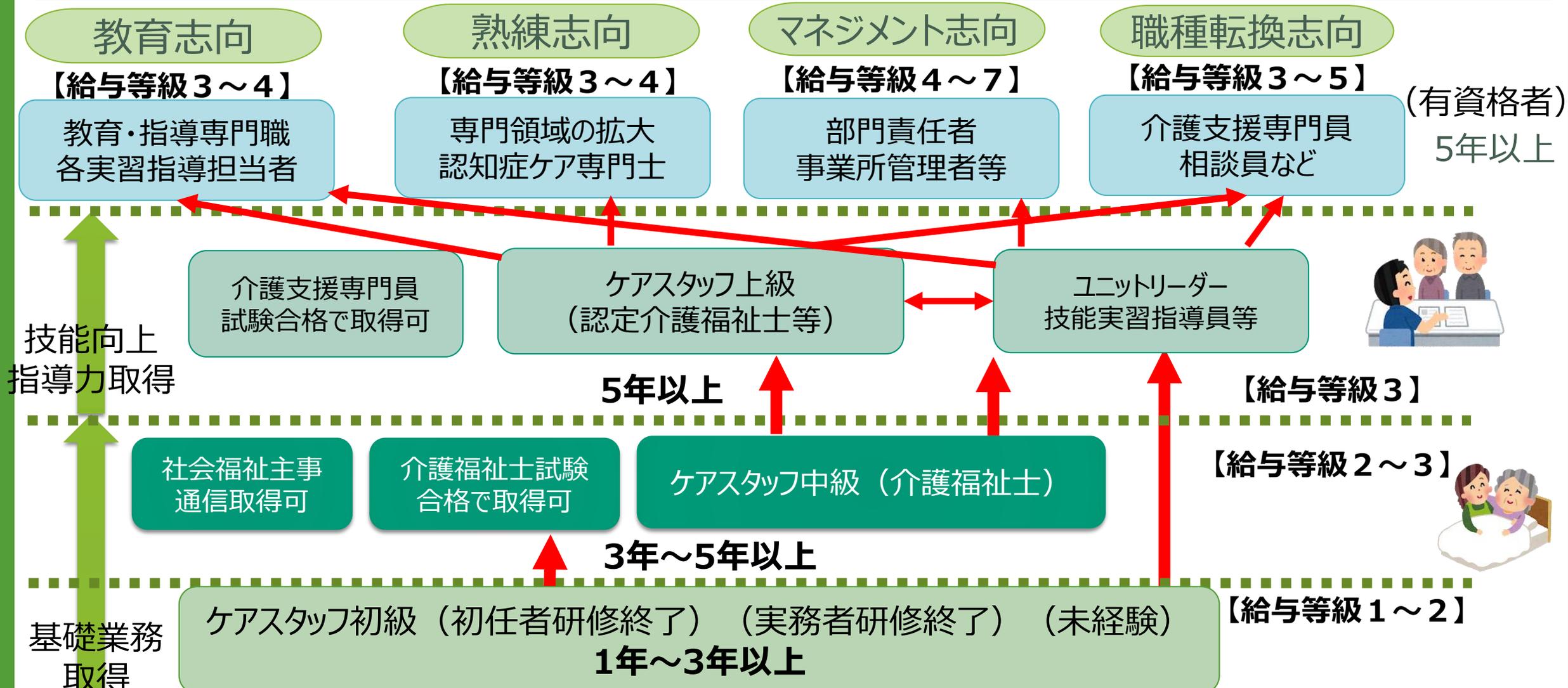
2次評価者記入欄

3. キャリアパス計画

年度末評価を元に面談するシート、リフレクションしながらキャリアパスを意識しながら見える化に努めている

社会福祉法人杏樹会 ケアスタッフ キャリアパスイメージ

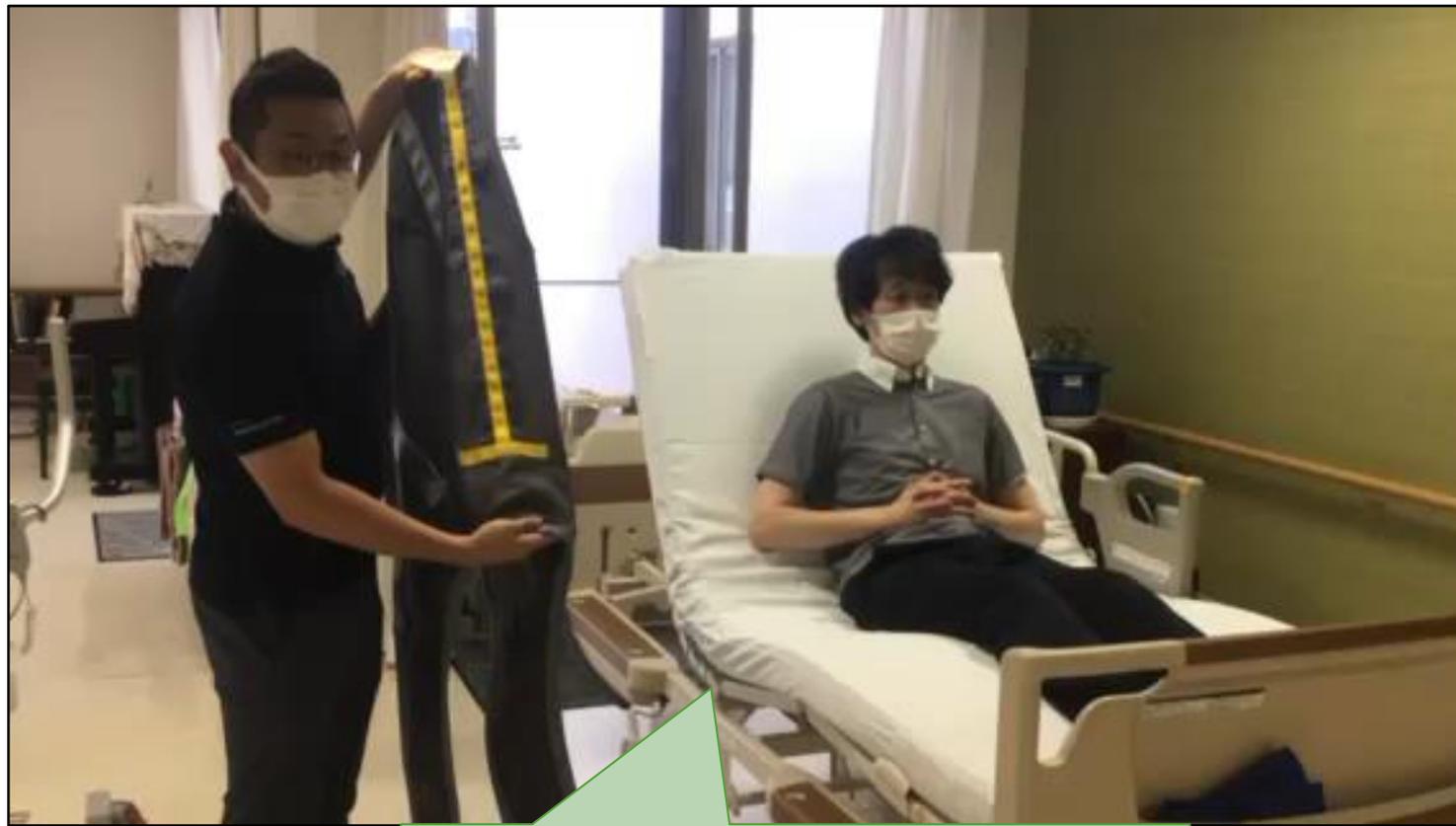
自己成長で得られるキャリアアップ



介護の標準化と腰痛予防を考えた取り組み 1

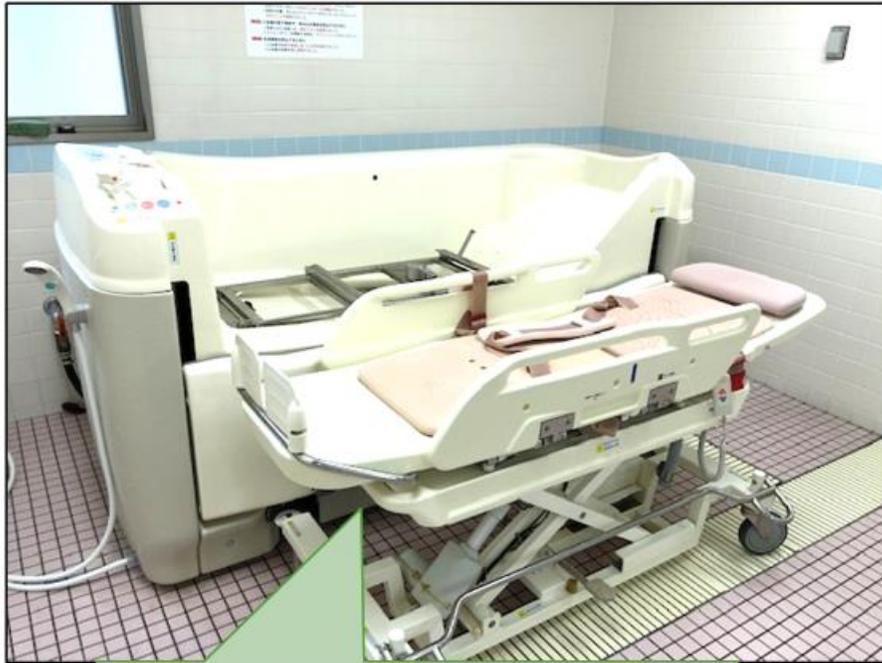


バッテリー完備で自走式の為使用場所を限定しない移乗用リフト



メーカーの専門員に講習をして頂き、動画を施設限定公開のサイトに挙げて研修に活用

杏樹苑爽風館の浴室2



特殊寝台機械浴槽として
電動リフト付き個浴
コンパクトでマンツーマン
入浴に適している



特殊機械浴槽として
チェンバス式個浴を用意
円背の方などで立位不可
の方などに使用している



中間ADL浴槽として
車いすリフト付き個浴
椅子やそのままでも使用
可能な多目的バス

固定担当ユニット職員によるマンツーマン入浴



ユニットに固定配置されたなじみの職員がユニットから案内、入浴、お戻りまでマンツーマンにて実施

入浴データ表 (パンジー)		
氏名:	病歴	入浴の流れ (パンジー) ※同性介助なし
	<ul style="list-style-type: none"> 急性硬膜下血腫 C型肝炎 緑内障 右硬膜分静脈閉塞 右白内障 	
使用物品・用具	入浴チェア (雨肘上がるタイプ)	<ol style="list-style-type: none"> ①にバスタオルを敷いた椅子を用意し座ってもらう 着脱は白身にて行う。着脱が必要の高、フェイスタオルを渡す 脱衣が終わったら②に準備したチェアまで手引き歩行チェアは抱けやすいように左側の肘置きを上げておく 両肘押しシャワーの頭を床の足の近くで肘置きを握る シャワーにて頭にお湯をかけた後、シャワーを本人の手に出し顔を洗う。洗い終わったらシャワーの温度確認後、シャワーを流し流してもらう。洗い残し確認後、フェイスタオルを渡し顔拭いてもらう 風呂場にバディーロープを2～3箇所設置し入れお湯を入れる。その中スタオルを入れ立てタオルを渡す。足場は見守り 洗後、室温を確認しシャワーを流す。洗い残しを確認 浴槽へ入る前にバスタオルを渡し顔拭いてもらう ③より浴槽から出て手引き歩行にて入室 ①にバスタオルを渡し拭いてもらい、白身にて着衣。体の向き確認 ②、介助にてドライヤーで髪を乾かす
脱衣は洗わない バットは 市販用ナフキン使用 ナフキンがポケットに入っている 洗濯に出す源注意		
意向・好み	注意点	
ぬるい風呂(38℃~40℃)好き ゆっくりと入りたい 自分で洗いたい 下向気味の時はいりたくない	C型肝炎なので入浴の順番は最後、体液血液には触れないように注意	

24時間暮らしの支援シートの根拠となる入浴データアセスメント表

14:00~16:00	お風呂に入る	長湯は嫌い。	手の届くところを洗う。	<ul style="list-style-type: none"> タオルは石鹸をつけ、泡立てた状態で渡す。 手の届かない所を洗う。 胸の下が赤くなりやすいので、良く洗う。 座位可能の為、イース浴を使用。 同性介助の希望なし 時間帯の希望なし 下着はブラジャーを着用する。 1階機械浴のイース浴で入浴援助。
				サポートが必要なこと
				(介護士、看護課) 【ケアプラン】 ①入浴前はバイタル測定を行う ②入浴は週2回を基本とし、座位浴イースで提供する。洗える所はご本人に洗って頂き、洗えない部分を援助する。左胸下、鼠径部は皮膚トラブルになりやすい為、丁寧な洗身、拭き取りをする。 ③入浴時、ポディーチェックを行ない、皮膚トラブルの早期発見、対応を行なう。乾燥している部分は保湿剤を使用する。

データアセスメント表を元にシートを作成しケアプランにも反映している

介護の標準化と腰痛予防を考えた取り組み 3 スライディングシートの活用



必要な方すべてのベッドの
足元ボードポケットに配置



摩擦抵抗が少なく体位を
移動することが可能です

介護の標準化と腰痛予防を考えた取り組み 3 テクノロジーの活用

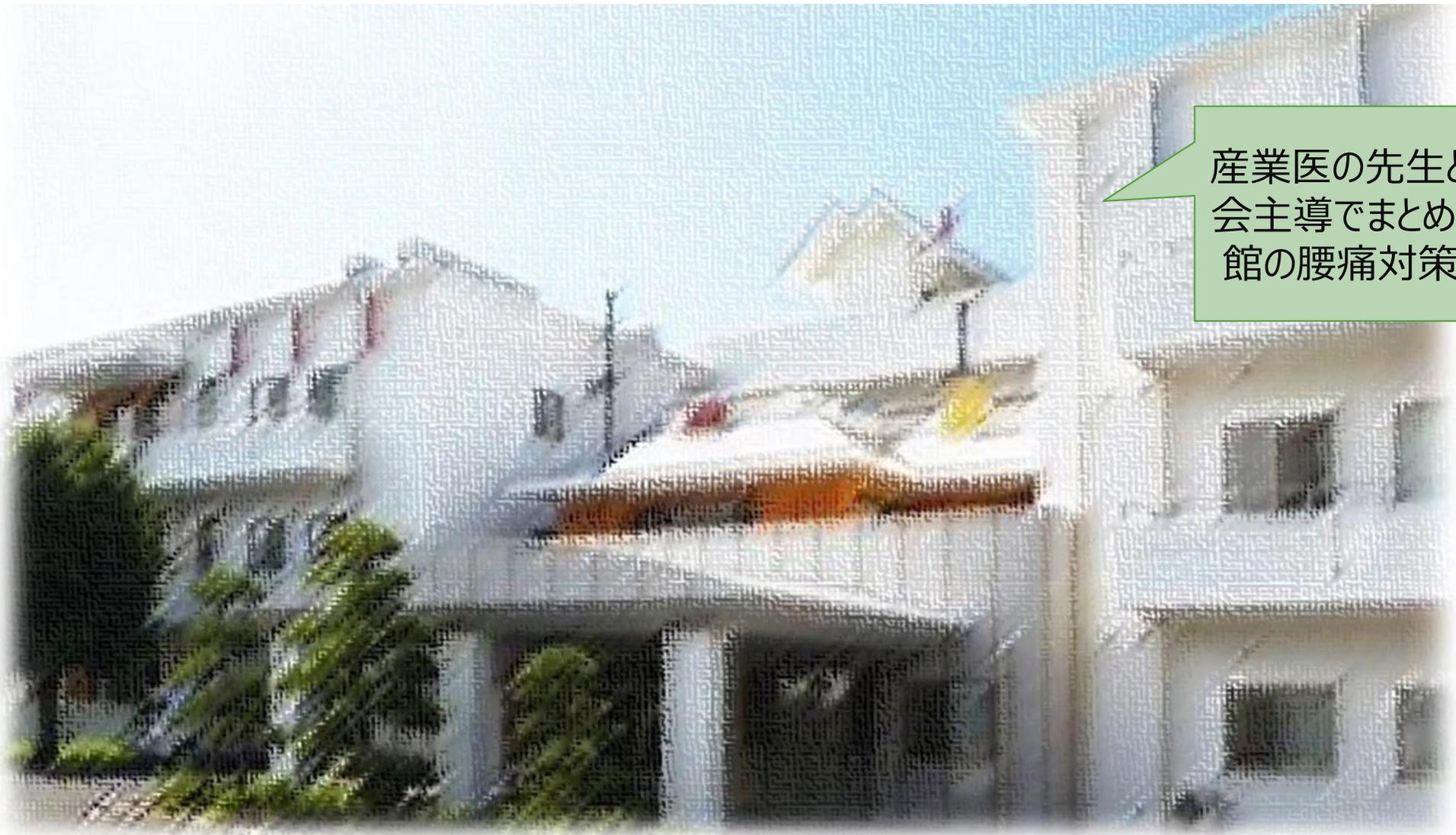


HAL腰タイプ介護支援用
は2台移乗支援として疲
労軽減と腰痛予防に使用



マッスルスーツソフトパワー
は3台配備！！
こちらも腰痛予防に寄与

労働安全衛生を考えた杏樹苑爽風館腰痛予防対策指針



産業医の先生と衛生委員会主導でまとめている爽風館の腰痛対策指針動画

その他に介護の標準化を考えた取り組み

ケアプランの実施記録は臨床推論の6項目に沿って記入するF-SOAIPを使用して記載している

離れたリビングを端末で見守れる動作検知機能付きのネットワークカメラ転倒など事故検証にも活用



ネットワークカメラ等搭載しており転倒注意の見守りとしても使用している



24時間暮らしの支援シートの生活リズムに沿って入力が可能となっている

CSTは月1回の開催現在の主な議題は発注インデックスを活用した各ユニットのアイテム管理や漏れ件数による技術管理が主となっている

システム補助としてタブレットを活用。音声入力や言語翻訳機能なども完備！

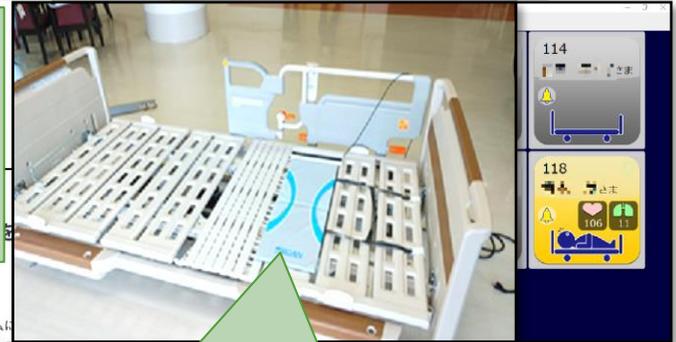
膀胱の許容量をエコーでリアルタイムに観察し適切なタイミングを知らせてくれる予測支援型のロボット

お知らせ！
パッド交換のタイミングに基づき、排泄介助を行うことで、自立排泄の実現や空振りの減少につながります。

「そろそろ通知」
設定したそろそろ通知ラインに基づいて、トイレ誘導の目安となる通知が届きます。

「でたかも通知」
膀胱の尿のたまり具合が低下したタイミングで、排尿後にパッド交換の目安となる通知が届きます。

尿のたまり具合を可視化！
利用者の膀胱のデータを、リアルタイムにグラフ化することで、利用者の尿のたまり具合や排尿傾向が視覚的に確認できます。



看取りの方には見守り支援機器を必ず使用している主治医と医療職で取り決めをして心拍呼吸が一定値でご家族が立ち会っている

更なる介護の標準化と腰痛予防を目指して



ご清聴ありがとうございました

